

研修の実施日程・対象者・受講者数一覧

研修講座名	対象	研修受講者数	日程
やまぐち総合教育支援センター新任校長研修	新任校長	51名	5月20日
福岡市教育センター新任校長研修(①)	新任校長	42名	6月15日
北九州市立教育センター新任校長研修(①)	新任校長	34名	6月19日
福岡市教育センター新任校長研修(②)	新任校長	42名	8月25日
北九州市立教育センター新任校長研修(②)	新任校長	34名	8月24日
福岡市教育センター新任校長研修(③)	新任校長	44名	9月27日
北九州市立教育センター新任校長研修(③)	新任校長	34名	9月19日
福岡市教育センター新任校長研修(④)	新任校長	39名	11月26日
北九州市立教育センター新任校長研修(④)	新任校長		

山口県新任校長研修

研修に対する受講者の感想・評価

アンケート回答者 51人

【Q.1】本講義・演習「マネジメント能力を高める」の内容は、今後どういった測面に特に結びついていくと思われますか。該当する項目の記号に○印をつけて下さい。(複数回答可)

- | | |
|------------------|-----------------|
| [a]学校の適切な目標設定力 | [b]教職員への目標プレゼン力 |
| [c]組織風土の改善 | [d]教職員の育成 |
| [e]校務分掌への適材適所配置力 | [f]教育委員会との目標共有 |
| [g]家庭・地域との連携・協働 | [h]教職員の信頼獲得 |
| [i]リーダーシップの発揮 | [j]その他[] |

	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]	[f]	[g]	[h]	[i]	[j]
合計	41	32	16	17	8	2	20	16	29	

【Q.2】これまでにあなたが受講された研修において、「身に付いた」・「効果があった」と感じた研修内容はどのようなものでしたか。該当する項目の記号に○印をつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| [a]ロールプレイ等が取り入れられ研修に工夫が見られたこと |
| [b]研修中に新しい人間関係を作ることができたこと |
| [c]研修内容が自分に必要なものであったこと |
| [d]研修中または研修前後に課題が提示されたこと |
| [e]自ら進んで考える内容が提供されていた |
| [f]その他 [] |

	[a]	[b]	[c]	[d]	[e]	[f]
合計	16	13	40	14	23	?

1. ほとんど合うものである。 2. まあまあ合うものである
3. あまり合わなかった 4. ほとんど合わない

- ・ 現場からちょっとはなれて研修をうけた内容が自分が悩んでいた部分と重なる部分も多かったのですこし元気が出ました。

- ・ マネジメントの意味がよく分かった。ビジョンとミッションの設定の仕方ができてないし、絞込みができていないのがわかった。教頭どころか本人ができていないので、研修をもとに整理します。
- ・ もう 1 度自分の校長としての姿勢を見直そうと思った。学校経営ビジョン・ミッションを明確にしないとイケない。
- ・ マネジメントに関するカタカナ言葉の意味が少し分かってきた。演習をまじえてよく分かる研修でした。自分のあいまいなビジョンをもう 1 度見直そうと思いました。
- ・ 韓国では、校長になるために 360 時間の研修があるという話を聞き、日本でも校長になる前に今日のような研修があるといいと思いました。
- ・ 本当にありがとうございました。職員のモチベーションを高め、目指す生徒像が達成できるように頑張ります。
- ・ 経営する上で大切なことを学べて、参考になります。今後は楽しみです。
- ・ 自分の考えが講師の先生の話で整理できた。
- ・ アイス・ブレーキングは職員研修でも使えると思う。
- ・ この 2 ヶ月間の校長としての姿を振り返る貴重な場となったようです。これからが楽しみになってきました。
- ・ 次回の具体的な研修内容が楽しみだ。
- ・ 考えるヒントになる話が多かった。自分なりに考えて、実践に活かして行きたい。
- ・ タイムマネジメントをはじめ、毎日五里霧中の中、手探りをしています。今後の講義や演習が楽しみです。
- ・ 学校経営で目指すところは分かり、よかった。ビジョンとミッションの話は教頭にもします。
- ・ 組織体制づくりの重要性を意識していながらもなぜ、どこに切り込んでいくのか…より学校長が考える学校教育目標を理解し、どう具現化していくのかということ、いかに校長の示す明確なビジョンに向かっていくものを巻き込み、増やしていくか、次回の戦略にも大変興味がある。とてもわかり易く実践に生かしていける内容でした。ありがとうございます。
- ・ 教頭職と校長職の違いを改めて認識することができる内容だった。本校の現状に応じた、決断までの筋道を考えたいと思う。
- ・ 新任校長の役割としての学校経営能力の必要性（重要性）を痛感した。次回も楽しみである。
- ・ 日々の自分の仕事ぶりをリーダー（マネージャー）として見直してみたいと思う。「面談は本物」という認識がかけていた。
- ・ ビジョンとミッションの違いについて明確に整理することができた。
- ・ プレゼンスの必要性。ビジョンとミッションの関連性。危機管理は組織力そのもの
- ・ ビジョンとミッションについての話を教頭研修会及び職員研修に生かしてみようと

思いました。次回からが楽しみです。

- ・ ビジョンとミッションの話が分かり、毎度自分の学校経営を振り返りたいと思った。
- ・ まだまだマネジメントの何たるかを自分がとらえられていなかったと思い知らされました。自分自身の研修を深めていきたいと思います。
- ・ 「校長とは」が校長となって日々考えさせられていることだったので、大変参考に（自分自身、ビジョン…など考えていないことも多いことが明らかに） になりました。
- ・ 学校経営をおこなっていく上で再認識させられた研修内容であった。
- ・ ビジョンとミッションについて明確になったと思う。
- ・ 組織マネジメントに関して、書籍などでは述べられていない、現実的な場面、現実的な内容、建前ではない内容を例に取り上げお話をくださるので、わかり易く、今の自分を関連させて聞くことができました。
- ・ 今年度の経営案を作る前に聞いておくとよかった。
- ・ 講師の話だけでなく、グループにしたり、プリントに書いたりワークが入っていてよかった。
- ・ プレゼンの資料がいただけてありがたいのですが、文字が写ってないところがあるので、はっきりしたものがいただけるとうれしいです。
- ・ プレゼンの資料の文字をもう少し大きくして欲しい。
- ・ 次回もよろしくお願いします。

第1回（北九州市新任校長研修）

研修に対する受講者の感想・評価

アンケート回答者 31 名（小学校校長 24 名、中学校校長 7 名、特別支援学校 1 名、無回答 1 名）

(1) 満足度（よいを 4 点、よくないを 1 点とし、4 件法で評価）

①研修内容 平均点 3.9（4 点：28 名、3 点：3 名、無回答 2 名）

②研修方法 平均点 3.8（4 点：24 名、3 点：2 名、無回答 2 名）

③研修で学んだことが自己研修へのきっかけとなった

平均点 3.9（4 点：26 名、3 点：2 名、無回答 3 名）

(2) 研修で学んだことや今後生かしたいこと（全回答）

- ・ 校長として今、ここにいる自分の立ち位置、今どこに向かおうとしているのか。そのためには、専ら自己を見つめ直すよいきっかけとなりました。先生のお話は何回お聞きしても、心にぐって入ります。本当にありがとうございました。PS. [教師魂]がなかなかというか、全然成仏しません。この点も肝に銘じていきたいと思います。
- ・ ビジョンを明確にするとともにミッションをきちんと説明しなければならないことが分かった。これから本校にとって本当のビジョンを作り上げ、職員だけでなく、保護者地域等にも伝えていくことが大切だと思った。

- ・「教育問題は、まず自分の足元から」、「仮のビジョンから真のビジョンへ」自分の勤めている学校、職員、子ども、保護者、地域をよく見て、現在地をしっかりと見極めることが大事ということを改めて学びました。4月よりも6月の時点の方が、学校はよく見えてきているというのは当たり前ですが、さらに見極めていきたいです。
- ・日々の業務に追われる中、本日の研修を受け、改めて気付かされたことが多々ありました。今後、自分が描いているビジョンとは何か、これを常に念頭において経営しなければならないことを痛感しました。本校の現状、実態をしっかりと見つめ直していかなければならないと思いました。ありがとうございました。
- ・ビジョン、ミッション、パッションに分けて、自分の学校経営を分けてみると、自分の進むべき方向があいまいであったことが分かった。作業をし、自分自分で見直すことによって、これからやらなければいけないことがはっきりしてきた。改めて教頭以下職員に自分の学校ビジョンを伝えようと思った。
- ・校長職とは何か、校長として必要な資質能力とは何かということに考えさせられる。大変意義ある研修であった。演習も入っており、ある意味、緊張感もある研修であったと思う。校長としてのビジョンやミッションをもっと明確に具体的にしていくことが大切であると感じた。
- ・校長に求められる力は教育活動の質的改善、協同体制の風土づくり、教員の指導力、家庭や地域との連携、倫理・規範とリーダーシップ等々あることを学んだ。校長は人、ものの金の管理が大切だが、本日の研修で職員のモチベーション管理が最大のものである。校長の考えが一貫するのは、ビジョンを持ち、その具現化方策を体系的に考えていくことが大切でワークシートでの演習は大変勉強になりました。
- ・自分のプレゼンスを見直すことは、今後を見通すことだということがよくわかりました。これから、自分はこの研修に取り組むことが楽しみになりました。ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。やっぱり子どもたちにロボットの楽しさを伝えたいと思っています。
- ・毎日の出来事に追われて、やり残したまま来ていたことをたくさん思い出せました。校長としてのビジョンがいまだ定まらず、右往左往している状態です。今日からまた気持ちを新たに、ビジョンへ向かう道筋を具体的に考えて、計画していこうと思います。学校に行きたくない子、いけない子、来ても何も分からず、我慢している子、見えないところで多くの問題があります。先生の言葉を思い出しながら頑張ります。
- ・様々な形態での研修で学校組織マネジメントについて分かりやすく学ぶことができました。ビジョンは旅の目的地、ミッションは旅に出る理由というのはイメージがわかりやすいでした。マネジメントは何も特別なものではなく、職務の本質をしっかりとらえ、それを果たしていくための最良の方法を考え、実践していくことであると思いました。この研修の機会を大切にして今後も学んでいきたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。ありがとうございました。

- ・これまでもマネジメント研修を受けてきたが、教頭としての立場でしかとらえられず、学校経営という視点では不十分だったし、今一つ実感を伴っていなかった。今回の校長として、学校経営を実際に行う立場で受けるマネジメント研修は難しいと思いながらも実感を伴うものであった。自己分析、自己認識、自校分析の甘さも感じる事ができた。
- ・いつものことながら先生の講話は分かりやすく、やる気の出る内容です。宿題をいただいた時は、「何のために」と思いましたが、自分を客観的にみることの大切さを研修を通して実感しました。ビジョン等、例をあげて、分かりやすくお話いただき、イメージがすっきりとし、整理できました。あと3回の研修、頑張りたいと思います。ありがとうございます。
- ・校長の資質・能力とは何か、リーダーシップとして必要とされるものとは何か、明確にさせていただきました。今後の学校経営に生かしていきたいと思います。ありがとうございます。
- ・教職員と、現任校をどんな学校にしたいか。面談を通して、ドリームを話し合っていこうと考えました。また、モチベーション管理がしっかりできるように努力していきたいと思います。タスク分けを通して、改めて教頭職の仕事量の多さを痛感致しました。今日も5年生と社会科見学に引率している教頭先生、5時以降の仕事が目にかびます。私にできることは手伝っていこうと思います。教頭を育てながら。大変勉強になりました。ありがとうございます。
- ・職員と、どうしたらいいかを語り合う場をぜひ、たくさん持ちたい。指示、お願いではなく、職員に問いかけをするようにしているが、その答えを出し合う場がとれない。とれていないから、校長として、共有のビジョンをしっかり立て、示すことの重要性を感じた。しかし、学校経営案を4月の5、6日に提案しなければいけないというのはなかなか難しい。
- ・「教頭として頑張ったから、校長になったわけではなく、校長としてやれる」と思われたから登用されたというお話を聞き、はっとさせられるものがありました。校長としての視点を明確に持たなければと思うと同時に、どのような視点が校長としてのものなのか、考えていきたいと思います。演習を通じて、ビジョン等について考えさせられました。
- ・校長として、自分の仕事をどうとらえたらよいか、大変勉強になりました。ビジョンを具体的に描き、ミッションを示せ、それが共有されるような学校を作っていきたいと思いました。4月当初の新鮮な気持ちと呼び戻させて下さいました。演習形式で、自己表現できることは、精神衛生上もとてもいいことだと感じました。
- ・マネジメントの大切さ、ビジョンの共有化、ミッションをしっかり持つこと等、得るものが非常に多かった。「管理者から経営者へ」自分を変えていこうと強く思った。そのために、判断力と決断力をもっと身につけたいを今強く思っている。
- ・校長として何をなすべきか改めて考えさせられた。特にビジョンについて考え直してみ

たい。教頭と校長の違いを演習等を通して考えることができた。

- ・ビジョンの共有という点で「ドキッ!!」とさせられた。私自身が「分かってもらっている」「共有できている」つもりではないか。と今まで一度も考えていなかったことに反省させられた。これまで、研修は「受けなければならないもの」という意識をもつことが多かったが、本研修は「受けなければならないものでよかった」と心から思える。
- ・私もこれまで校長がビジョンを示すことが重要と考え、それを実践したつもりでいた。しかし、私が示していたことは「ビジョン」ではなく、「モットー」だったということが今日分かった。「真のビジョン」を築き、それに職員を巻き込んでいけるように、今後の研修でまた学んでいきたい。これからの先生との研修が楽しみになった。(しかし、そのための厳しさも改めて感じた研修であった。)
- ・学校組織マネジメント1の研修であったが、分かりやすく、実践的な講話でした。昨年度、マネジメント研修を受講したが、また新たな気持ちで受講できました。特に、演習があり、他の校長との交流ができて大変よかったと思います。今後もよろしくお願いします。
- ・演習を行いながらの研修であったため、自分の中心ある具体と導き出しながら、学ぶことができた。また、今後の経営について戦略的に取り組んでいく指針となった。
- ・ビジョン、ミッションについて再考するきっかけとなりました。現状をもう一度見直し、作戦を立てよと思います。マネジメントとリーダーシップについて改めて考えさせられました。
- ・現在、進めている学校経営について、見直しと検討の視座と視点を与えていただいたように思っている。
- ・私は教頭を経験せずに校長になった事も自分の中でデメリットとして感じてました。しかし、本日の研修を受け、校長は教頭とも教員とも違う事を強く感じました。この研修のシリーズを通して多くの事を学び、校長としてのビジョンの持ち方を高めたいと思います。
- ・学校長として、教職員のモチベーション管理を行って、やる気を引き出すことができればと強く感じた。マネージャーからリーダーへ学校長の役割の変化等についてもよく理解できました。ビジョンの共有が学校においてどこまでできているのか少々不安になったので帰って、確認して見ようと思った。
- ・校長の役割とは何かを再確認できた。(発想の転換となった) 今日から何をすべきなのか?を考えるチャンスとなった。(常に考えなければ) ビジョンとは何か。城南中のビジョンは何か、再考した。現状・課題・対応策と色々と悩みが出てきた。本日の研修で教頭職の多忙さ、校長職の厳しさが再確認した。
- ・先生のお話を一つ一つメモしました。それだけ、話が分かりやすく、自分を確認することができました。また、アイス・ブレイキングやタスクマネジメントに利用したカード、ワークシートなど工夫された一つ一つが興味、感心のあるものでした。時間を気にせず、

研修できました。ありがとうございました。（具体例が非常に分かりやすかったです）

- ・教頭として頑張ったから校長になれたのではなく、校長としてやれると思われたから、校長になれたのだという自覚をもつことの大切さを教えていただいた。旅の目的地としての「ビジョン」を初めに示すだけでなく、それを真のビジョンにするために現在地を改めて見つめ直し、旅の道連れを増やしていく努力をする必要性を感じた。
- ・校長として現有スタッフで、モチベーションを高める取り組み（姿勢）の示し方が重要と考えさせられた。校長に登用された理由を振り返る事も後の研修の重要な基礎になるであろうと思う。現場で再度目標合言葉を語り続けようと思った。
- ・職員に対し、仕事の意味づけをキチンと行う（職員のモチベーションをあげさせる）ことの重要性について実感しました。
- ・「ビジョンとミッション」の考え方。校長として持ち続けていくことがいかに重要かを学びました。まずは教頭、教務主任とビジョンを語り合い、現在の自校の状況を分析しようと考えます。これがしっかりできていないと改善の方向性も示せないことが良くわかりました。あせらず、じっくりと時間をかけて、職員と保護者、地域、関係機関の方々と情報交換をするなかで、校長としてのビジョンを作っていきたいと考えています。今日の先生のお話は、今の自分にとって貴重なものでした。元気と活力をいただきました。ありがとうございます。

(3) 今後の研修に期待すること（全回答）

- ・内容にもよりますが、グループ間の交流があっても、よいかなって感じました。（時間の関係で厳しいですが。）
- ・演習がとても楽しかった。有意義であった。
- ・先生の講話は演習も入り、研修の時間が短く感じました。ありがとうございました。
- ・研修を受けるたびに校長の職責の大きさ、重さを実感する。
- ・韓国のように、教頭時代にこのような研修を受けておくことが必要なのではと思った。
- ・もりだくさんで勉強にはなったが、流れに乗りきれなかったように思える。
- ・特になし
- ・次回以降の研修も楽しみであるが、宿題には時間がかかってしまいそうだ。
- ・たくさんの資料、ワークシート等参考になりました。
- ・4月より2カ月余り経過した今、見えてきた部分も増えてきたように思っている。これから、具体的な指針と方策を生み出す上で、本研修の内容に期待している。
- ・視点、考え方など自分の不足分が理解でき、良かった。これ以降はその対応策をより具体的に示してもらいたい。
- ・忙しい中提出した宿題が、どのように今日の研修に生かされているのかが、あまり明確でないような気がした。

第2回（福岡市新任校長研修）

研修に対する受講者の感想・評価

アンケート回答者 35 人（幼稚園園長 1 名、小学校校長 24 名、中学校校長 9 名、不明 1 名）

(1) 満足度

「大変満足」：18 人 / 「満足」：17 人

「あまり」：0 人 / 「満足でない」：0 人

(2) 上記設問 (1) の選択理由（複数回答）

「自分の課題やニーズにあった（合わない）内容だった」：23 人

「研修の形態がよかった（よくなかった）」：10 人

「講座の講師の話が参考になった（参考にならなかった）」：10 人

「研修したことが実践に活用できる（活用できない）」：2 人

「その他」：0 人

(3) 内容に関する感想（全回答）

- ・ 危機管理の洗い出しとマトリックスの作成をぜひ三者でやってみたいと思った。
- ・ リスク予測の仕方、オルフェウス方式の組織
- ・ 危機管理について再考、そして今後の学校状況に応じて対応していく上で大変参考となった。校長講話は、学校の空気（文化）を変えるものである。
- ・ 自校の危機管理に関して教頭、教務主任と話し合う機会を持ちたいと思う。
- ・ 演習
- ・ クレーム対応のロールプレイ。違う内容で、いずれも保護者がクレーマーの設定がよいと思います。
- ・ クレーム対応、危機管理についてすぐに役立つ内容でした。ありがとうございました。日々クレーム対応、職員指示、危機管理です。
- ・ 新学期が始まる前に、危機管理の演習があったのは有意義あった。また、校長講話ももう一度見直してみたい。
- ・ 現実に起こっていることを研修できた。
- ・ 組織で取り組む危機管理を研修を深めていきたい。自分自身を高めていきたい。
- ・ 具体的で良かった。講師の先生ご苦勞様。
- ・ ロールプレイ等の研修が役立った
- ・ あらためて危機管理について、校長として大切にしたいことを学べた
- ・ 本校の組織が危機管理に対応できるか、リスク予測表をもとに検討したい。
- ・ オルフェウスプロセス 8 つの原則
- ・ 自分の学校の危機管理に対する組織力を見直しをしたいと思いますし、1 人 1 人が対応できる力をつける研修、共通理解が必要だと思います。
- ・ リスクマネジメント、クライシスマネジメント。いかに職員が対応できるかをもう一度考えたい
- ・ 危機管理の視点を再確認できた。

- ・ 演習の中で他の先生の対応を聞く機会が得られました。講師の話も含め、園に帰って職員に伝えたいと思います。
- ・ クレーム対応を現在行っているところであり、その他危機管理について大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 危機管理に対しての校長の役割がしっかりわかったような気がします。ありがとうございます。
- ・ 校長はゆるぎない判断力が必要であるが、組織の一人一人がどれだけ動けるか問題である。本校の実態を見直したいと思う。
- ・ ワークシートを記入していく中で、自分の学校の課題が明らかになっていきました。整理をすることの大切さがわかりました。
- ・ 危機管理に対する組織化をもう一度見直しをしようと思った。職員内の共有、教頭の役割、校長の役割を考え実践していきます。演習形式は実践にすぐ活用できて大変役立ちます。
- ・ 校長の立場、保護者の立場、気持ち、演習を行うことで納得できることがありました。危機の洗い出しは学校に戻り三者でまずやって研修にも生かしていきたいと思います。
- ・ クレーム対応のロールプレイは役に立ちました。とっさに何がニーズなのかを感じることも大切。
- ・ 危機の洗い出し、発生率・重要度のマトリックスは大変わかりやすく参考になった。
- ・ ロールプレイでクレーム対応、保護者の立場・教師の立場、校長の立場でのポイントが分かった

(4) 研修形態・内容への要望（全回答）

- ・ ロールプレイと演習はよかったので、これからもぜひ入れてほしい
- ・ 良い
- ・ 特になし

第2回（北九州市新任校長研修）

研修に対する受講者の感想・評価

アンケート回答者 34 人（小学校校長 23 名、中学校校長 6 名、特別支援学校 1 名、不明 4 名）

(1) 満足度 （よいを 4 点、よくないを 1 点とし、4 件法で評価）

①研修内容 平均点 3.9（4 点：31 名、3 点：2 名、無記名 1 名）

②研修方法 平均点 3.9（4 点：31 名、3 点：2 名、無記名 1 名）

③研修で学んだことが自己研修へのきっかけとなった

平均点 3.9（4 点：29 名、3 点：4 名、無記名 1 名）

(2) 研修で学んだことや今後生かしたいこと（全回答）

- ・ クレーム対応を実際にやらせていただいて勉強になりました。自分はディベート etc が

不得手でいつもつい聞き手に回ってしまうところがあります。まずリーダーシップを取るところから変えていこうと痛感しました。ありがとうございました。

- ・危機管理する～ 能動的に危機管理に対処しなくてはならないと思った。
- ・危機管理について、リスクマネジメントとクライスマネジメントの面からご指導をしていただきました。先生のお話は新しい視点を示していただくものがあり毎回楽しみにしています。保護者の苦情についてのロールプレイは、やってみて改めて気づくことがたくさんあるとともに小グループでの話し合いも大変参考になりました。オフェンス室内管弦楽団の話は大変興味深く聞かせていただきました。ありがとうございました。
- ・危機管理のための校長としてのリーダーシップはもちろんだが、職員がその場でどれだけ動けるのが重要だと感じた。様々な形で職員への意識づけをしていきたい。
- ・日常の学級運営上、日々感じている危機について、演習と講話でためになる研修でした。日々の実践において、倫理的に学ばせていただき、いつも研修を楽しみにしています。ありがとうございました。
- ・危機管理に陥らないための予防と事後の対応について。職員の危機の感度を上げるとともにあったときに動けるスロガンの必要性について、等々たくさんのことを学ばせていただきました。ありがとうございました。
- ・「自校が危機に強い組織であるか」について問い直し、校長としてこれからやるべきこと（自分がさらに伸ばしたい点と改善するべき点）が明確になった。オフェンス型の危機に強い組織となるよう尽力していきたい。（校長がいつ、どのように前面に出るか、諸条件がちがうと悩むところです。）
- ・今回の「危機管理の推進と校長の役割」の研修は校長として、常に意識していないといけない、とても重要なものであった。これをきちんとしていないと本当に学校が崩壊してします。今日教えていただいたリスクマネジメントを日頃から行って何かあったときにはクライスマネジメントの考え方で素早く動きたい。
- ・トップダウンではなく、教職員の感度を上げるということは、すごく納得するところだった。あわせてこども自身の意識を高めたいと思った。保護者対応等講習内容がよかった。
- ・昨年度まで教育委員会指導第二課に勤務して、各校に危機管理を呼びかけていたが、今日の研修で、もっと深く考え対応しなければならないことを学ばせていただいた。危機管理のための組織強化といえは「ピラミッド」という固定観念をもっていてはダメということが参考になった。日頃から一人一人の教職員の使命感を高めることが重要だとわかった。
- ・とても実践的に内容のこい研修でした。演習も講話も適時性が高く効率的に理解できた。参考資料も多く再度読んで自己研修を行おうと思う。
- ・危機管理についての研修は、年に数回は受けて危機の想定をすることを忘れないようにすることが大切だと感じた。リスクマネジメントとクライスマネジメント両方から考えていかなければならないと分かりました。後半のケースに応じたロールプレイや話し合いは、具体的に自分のことと

して考えることで、大変ためになった。トップの判断や心構えが大切だと痛感した。「いい学校とは、何も起こらない学校ではなく、問題が共有できる学校である。」ということをお忘れのようにしたい。

- ・危機管理におけるリスクマネジメントとクライシスマネジメントの両方をしっかり身に付けて学校経営にあたりたいと考えます。又、危機に強い組織を作らなければならぬと痛感致しました。ロールプレイは、大変勉強になりました。又、テキストを活用していきたいと思います。
- ・「危機管理講座テキスト」を活用させていただきます。
- ・危機管理について、その捉え方や歴史、考え方等が全般的に学ぶことができて大変よかった。特に具体的な事例や役割演技等は、実際の対応について考えさせられた。今後に生かしていきたい。
- ・危機の洗い出しを行い、それを重要度と発生率に分けて英数化する作業を行った。このことで所属校の危機を明確に出来、2学期の危機管理について方向性が見えた。またロールプレイをすることで、具体的に保護者の苦情、職員の指導のあり方がわかった。とても有意義だった。
- ・危機管理について、校長としてのリスクマネジメントとクライシスマネジメントについて学ばせていただきました。管理職として自分のビジョンをしっかり持ち方向性をきちんと示すことの重要性を再認識しました。ロールプレイでは大汗でした。
- ・危機管理の内容が多く盛り沢山であった。演習は良かったが、他の校長がどのように感じているのか校長の感想などを聞きたかった。演習は良かった、色々な対応（人柄）が分かった。
- ・危機管理についての「スローガン」をかかげ、全職員に徹底するようにしたいと思いました。校長としてきちんとベクトルを示すことができるよう、日々危機管理体制について、考えておくことの重要性をあらためて痛感しました。
- ・具体的な事例に判断し、グループで協議することの意義が大変大きく、勉強になった。危機の判断、対処のむずかしさを痛感する。
- ・先生の話はいつも具体的でわかりやすい話です。演習もあり身になるものです。少し緊張しますが……。はじめに「・・・から、まさか」からはじまり2時間半があつという間でした。すこしビデオ（プロジェクト X）を見たかったという思いが残っています。テキストは貴重で非常にありがたかったです。
- ・リスク予測の演習では、具体的な危機を考えながら、その発生率や重要度を十分に検討することでイメージが湧きとても良かった。校長講話の視点の説明もとても参考となりました。ありがとうございます。
- ・危機管理の考え方を整理する上で非常に勉強になりました。危機管理講座テキストをしっかり読んで、活用させていただきたいと思っています。ありがとうございました。

(3) その他感想（全回答）

- ・2学期始業式の講話 ～小学校の場合、教職員に話す講話と式で、子供に話す言葉は明確

に区別することが妥当と考えています。子供は夢を、教職員には、指導体制の確認と指導目標を確認させる話をします。

- ・テキストをいただきありがとうございます。ぜひ校内研にも生かしていきたい。また HP も紹介していこうと思う。
- ・先生の研修は、毎回すばらしく本当に勉強になる、次回も楽しみ。
- ・校長の講話については毎回悩むところで、研修を深めたい分野である。
- ・演習は厳しいが、他の先生の対応のコツが学べて参考になった。
- ・内容の割には時間不足の感あり。演習は少しハード、しかし内容が良かったので自己研修でカバーしていきたい。
- ・2 学期始業式での「校長講話」ビジョンをしっかり持った内容にもう一度書き直してみます。
- ・具体例をもとにした研修なので、わかりやすかったです。

第3回（福岡市新任校長研修）

研修に対する受講者の感想・評価

アンケート回答者 34 人（幼稚園園長 1 名、小学校校長 23 名、中学校校長 10 名）

(1) 満足度

「大変満足」：11 人 ／ 「満足」：23 人
「あまり」：0 人 ／ 「満足でない」：0 人

(2) 上記設問（1）の選択理由（複数回答）

「自分の課題やニーズにあった（合わない）内容だった」：16 人
「研修の形態がよかった（よくなかった）」：8 人
「講座の講師の話が参考になった（参考にならなかった）」：16 人
「研修したことが実践に活用できる（活用できない）」：5 人
「その他」：0 人

(3) 内容に関する感想（全回答）

- ・いつも勉強になります。ありがとうございます。
- ・評価の考え方が理解できた。
- ・自分の学校経営を見直すとともにやる気・元気を沸き立たせてくださる研修ができて大変感謝しています。評価・講和・挨拶など常に教育ビジョン・経営ビジョンをもって 1 つの戦略としてより有効にそして内容あるものにしていきたいと考えている。
- ・評価の根拠を療法に使わない。つい評価の視点を分割して複雑になってしまう。ビジョンにつながる戦略を立てているのかということ。
- ・演習はとても参考になりました。他の校長の講話も参考になりました。
- ・いつものことだが、演習が実践に役立ちそうです。宿題は大変ですが、良い研修になっています。
- ・他の校長のあいさつが分かって、今後の資料になる。評価についての話、とても参考に

なった。特に同じ方向に流れるという指摘はなるほどと思った。

- ・人事評価の考え方や実際の取り組みについて、学ぶことができ、大変参考になった。勤務の実際(タイムマネジメント)について集計していくことは必要なことかもしれない。根拠となるデータになりうる。
- ・目標管理の実際をもう一度みなおしてみたい。
- ・校長講話の意義について研修を受け、なんのためにするのか問い直すことができよかった。互いに校長講話を実際に聴きあい、自分の内容について見直すことができ大変良かった。
- ・演習により、会話が増えました。人間関係作りに感謝しています。
- ・校長は言葉の力で人を動かすということの重みを感じる講話でした。演習やグループ大義がとても役立ちます。評価の部分がもう少し時間をかけて聞きたかったです。
- ・クレーム対応の事例などグループでの話し合いが印象に残っています。実践的で役立ちそうです。
- ・毎日すべて参考になる充実した研修でありがたいです。
- ・責任ある評価者として職員との日常的なかかわりを大切にする校長でありたいと思った。
- ・今日は演習も多く、有意義であった。業績評価については、評価者としての責任を感じた。自分の思い込み、好味に偏ることなく構成的な評価者となるよう研賛していきたい。
- ・毎回マネジメントの重要性をきづかせていただきありがとうございます。
- ・日常の校長としての実践的内容の研修を参加体験を取り入れながら、研修の進められるので大いに役立つと思う。経営の戦略として生かしていきたい。
- ・評価で課題とすべきことを自分がどう理解できていたのか見直したいと思う。
- ・他の校長先生の講話内容はほとんど見るのができないので大変参考になった。意図を明確に持つことの必要性を改めて認識した。評価はとても難しく自分が公平に先生が納得できる評価ができる自信がありません。
- ・リーダーとしての校長は言葉で勝負実践するのみ。
- ・他の校長の講話を共有することができた。
- ・他の校長の講話を聞く機会を得たのは貴重であった。
- ・保護者地域対応について事例をもとに具体的に研修できたことが今後活かせる。
- ・理不尽な要求についての具体的な事例を検討したのが役に立った。
- ・事業の見極め→願いを知り教育的落とし所をさぐる一連の流れは見通しの重要性を知らされる内容であった。

(4) 研修形態・内容への要望 (全回答)

- ・時間調整アンケートの作業は時間外も含め大変である。
- ・暑かった。時と場に応じた対応をお願いしたい。
- ・グループのメンバーを小中混同するときもあっていいのでは？

第3回（北九州市新任校長研修）

研修に対する受講者の感想・評価

アンケート回答者 34 名（小学校校長 24 名、中学校校長 6 名、特別支援学校 1 名、無回答 3 名）

(1) 満足度（よいを 4 点、よくないを 1 点とし、4 件法で評価）

①研修内容 平均点 3.9（4 点：28 名、3 点：3 名、無回答 3 名）

②研修方法 平均点 3.8（4 点：26 名、3 点：4 名、2 点：1 名、無回答 3 名）

③研修で学んだことが自己研修へのきっかけとなった

平均点 3.7（4 点：24 名、3 点：7 名、無回答 3 名）

(2) 研修で学んだことや今後生かしたいこと（全回答）

- ・ 9.23 の課題をグループで話し合った際、その対応について他の方から学ぶことができ大変ためになりました。自分では考えつかない方向での示唆をいただき、勉強しました。
- ・ 評価への考え方…公平・公平さを保つための視点変換、説明責任を果たすための記録の重要性。
- ・ 評価者としての資質を向上させるための視点…未だ漠としているが、何とか整理できるのではないかと期待感を持っている。
- ・ 校長講話のあり方
- ・ 公正な人事評価のあり方
- ・ クレームに対する対応
- ・ 3時間の研修でしたが、校長講話、不当要求、人事評価と大変充実した内容でした。
- ・ 校長講話は、明確なビジョンの中にきちんと位置づけられたものであること、不当要求に対しては、法令を踏まえつつも学校の教育論を大切にしていけること、人事評価における多面的な考察等、とても勉強になりました。
- ・ また、研修の方法もそれぞれに演習や話し合い、先生のコメントがあり、メリハリのあったものであったと思います。
- ・ 校長の職務を進める上で、様々な情報を得て、多面的に考察し、判断していくことが大切であると思います。新採校長研修はその意味でも大変よい刺激になります。
- ・ 校長講話の内容を考える際の視点とすべきものがよくわかった。形だけ整えるのではなく、自分の戦略の一手段として活用することを考えていきたい。
- ・ 評価の重要性、難しさは理解できる。どう向き合っていくかをしっかり考えていきたい。
- ・ 校長講話について、もう少しじっくりと年間を見通して考えてみたい。他校の先生の事例は参考になった。
- ・ 危機管理について新たな発想が湧いた。
- ・ 人事評価は改めて難しいと感じた。個別データを充実させたい。
- ・ 評価については、校長になって大きな課題と考えています。いかに公正に評価するかの

難しさを再度認識しました。

- ・事例研究も宿題作成の時から検討していましたが、色々な対応があること、学校の実態によって異なることを実感しました。
- ・具体的事例をもとにグループで意見交換できてよかった。
- ・あすからの実践に生かしていきたい。
- ・「校長は挨拶、教頭は説明」という話を聞いたことがあるが、管理職（校長）の最大の武器は言葉であるということを再確認しました。
- ・本日の演習は大変役に立ちました。他の先生方の考えをお聞きすることができ、よかったと思います。
- ・講師の先生のご講話、資料も今後に生かせるもので、大変有意義な時間になりました。ありがとうございました。
- ・校長講話やクレーム対応の話は今後の参考になった。
- ・人事評価については、とても難しいと感じた。
- ・評価の研修については、どれだけ受けても自信が持てないような気がする。
- ・「校長は言葉で勝負する」という意識は持っていて、挨拶、講話を大切にし、内容をよいものにしたいと思ってきた。しかし、自らのビジョンとを結ぶ戦略としての位置づけとしていくことは本当に勉強になった。
- ・また、人事評価についても教頭時代とは違った「責任感」で、しっかりと説明できるようにならないといけない。評価能力について、さらに学び、力をつけていこうと思った。
- ・講話の重要性については日頃から感じていたし、難しいなと思っていたことなので、今後さらに研修していきたいと思った。
- ・保護者対応については、どんな場合もある一定のスタンスを崩さず、あとは臨機応変にやっていくことと早期対応、日頃の危機管理意識だなと思った。
- ・講話も人事評価も「しなければならない鬱陶しいもの」ととらえたら、それだけのものしかできない。いかに戦略的に取り組むか意識したら、校長にとって有効なものになるかがよくわかった。
- ・管理職として「教職員のモチベーション管理」の大切さを改めて気づかせていただいた。
- ・他の先生の講話の内容、危機管理の仕方について、大変参考になりました。
- ・校長講話、人事評価とも内容よく参考になった。他の校長の講話はとても参考になり、今後、生かしたい点が多くあった。また、ビジョンの向こうに見えるものを示していきたい。
- ・人事評価については、もう少し時間がほしい。
- ・校長講話について、グループで互いに講話内容を討議したのは勉強になりました。3分間にスクールリーダーとして言葉を大切にビジョンを織り込んでいくよう、今後の講話には努めていきたい。
- ・不当・理不尽な要求行為等の事例研修も勉強になります。日々、危機管理の必要性を感

じています。このような事例（共通）のことが協議でき、参考になりました。

- ・また、教員評価については、本日ご指導いただいた内容は全て勉強になり、評価に対して校長として取り組みを改めて考えていきたいと思いました。
- ・「講話」とは言葉でビジョンの旅に連れていくことである。戦略の一つとしての講話をもう一度見直し、活用したいと思った。
- ・学校でできることとできないことを明確にした上での「教育論」に落とすことが大切だと学んだ。
- ・評価者として能力を上げるために、多面性、柔軟性、見取の力、ぶれない評価基準などを身につけていくことを自覚しました。今後頑張ります。
- ・「法的なことをしっかり持っていないといけない」という話の方向かと思っていたのですが、「教育的対応」が大切ということをお聞きし、なるほどと思いました。法の根拠は持っていてもそれを前面に出して対応するのではなく、「教育的対応」をもって保護者・子供に対応していきたいです。そのためには、親のニーズの把握が肝要と思いました。
- ・評価者能力が試される、すしネタの評価、コンピテンシーの作成等、心に残りました。
- ・始業式の校長講話を経営の戦略としてとらえることが明確にできてよかったし、他の校長先生の講話も参考になりました。自校の校風、校訓を見直し、「枝光小魂」を子供に伝え、学校を変えていけたらと思いました。
- ・他校の校長講話は大変参考になりました。また、現状・戦略・ビジョンを考えた時、本校の実態に合った内容を分かりやすく伝える方法を身につけていきたいと思います。
- ・人事評価に関する研修時間があまりとれなかったのは残念でした。
- ・演習等で学んだことをこれからの学校経営にしっかり役立てていきたいと思います。
- ・評価については、毎年迷いながら作業を進めているので、研修するたびに学ぶこと、気づくことが多いです。
- ・校長講話は、人（他の校長先生）の話を聞く機会はないので、大変参考になりました。
- ・校長講話、保護者等の対応についての研修では、他の校長先生の思いや考えを拝聴できたので、とても参考になった。
- ・人事評価についての研修では、校長が職員の評価をすることの重要性について、改めて感じさせられた。今後、これからの課題（5つのポイント）を念頭に置いた評価をしなければならないと思った。
- ・校長講話については、もっとビジョンを明確にして、戦略的に行う必要があると感じた。特に、さらにポイントを絞って話していきたいと思う。
- ・人事評価については、時間をつくることと、自身の評価力を磨いていくことが大切であると思った。
- ・演習の中で自分の疑問や意見が言えたことで、少し心が軽くなった。校長として勤務することは、なかなか他の人に聞きにくいこともあり、そういう意味で話す時間が確保さ

れて、とてもよかったと思う（宿題は大変でしたが）。

- ・他の人の講話を聞くことは、今後の自分の講話に役立った。
- ・人事評価については、時間が押されてしまったようで、せっかくのお話がじっくり聞けなかったことと、プレゼンが見にくかったことが残念でした。
- ・先生の情熱はすごいと思います。
- ・校長としてのビジョンを明確に持ち、戦略的、意図的に方向づけるための一つの手段として校長講話を活用することの大切さを学びました。ありがとうございました。
- ・[式辞]色々な校長の講話を聞くことができて、大変参考になった。校種、学校状況によって違うことが分かった。
- ・[事例対応]色々な状況に対して、校長によって違うことが分かった。校長の「ぶれない方針」が大切であることがわかった。
- ・[評価]具体的な話で参考になった。もう少し時間をかけてゆっくり研修したいと思った。
- ・言葉の持つ力の強さを踏まえ、戦略的に活用することの重要性を感じました。
- ・講話の意義、着眼点の再認識
- ・苦情対応・処理、管理職が誰よりも冷静に対応、見通し、落としどころを探りながら解決を目指す。
- ・人事評価の考え方、基本の立つべきスタンスを学ぶことができた。いかに重要で責任があるものかと知らされた。細かければいいものでもない。
- ・講話について、校長となった4月から常に考えてきたことでした。事あるごとに「どんな話を」「何を伝えようか」と。宿題として自分が考えてきた内容だったので、講話、事例ともに何かがつかめたような気がします。実りある研修です。
- ・色々な校長先生方の講話をお聞きして、自分の講話内容を振り返ることができた。スクールリーダーとして、これからも言葉を大切に、言葉で勝負していきたい。
- ・保護者、地域住民の不当・理不尽な要求行為についての事例研究をグループ（4人）で行うことによって、状況把握、説明責任、同一歩調、記録等の大切さを再確認できた。
- ・人事評価についての研修を通して、評価者を務める校長として、その能力（正当性・妥当性・適格性）を高めるよう努めなければならないと改めて実感した。先生が言われた「校長は子供と向き合うのではなく、職員と向き合うのが本分である」という言葉が心に残った。
- ・校長講話の内容。
- ・問題事象、保護者対応。
- ・自分の評価者としての能力を疑い、高めること。
- ・教職員と向き合い、モチベーションを高めることが仕事であること。
- ・人事評価については、自分自身、日頃とても課題意識を持っています。今日、基本的な考え方を学べたことは非常によかったです。もっと先生から多くのことを学ばせていただきたいと思います。

- ・「校長講話を学校経営の戦略として使う」ことの大切さを学びました。実践に生かしていきたいと思います。

(3) 今後の研修に期待すること（全回答）

- ・時間が不足している。
- ・評価の難しさを改めて実感しました。
- ・中島指導主事には、毎回連絡や研修の準備等、細かいところまでご配慮をいただき、ありがたく思っています。残り1回となりましたが、先生、中島指導主事、どうぞよろしくお願い致します。
- ・評価についてもう少し聞きたかった。
- ・次回の宿題のことで気が重いです。頑張ります。
- ・特によかったところ…他の先生の講話の内容を聞くことができたこと。事例に基づいた研修、しかも小グループ討議ができたこと。
- ・人事評価の難しさを改めて感じました。
- ・次第にハードになる感があり、宿題も大変だが充実した研修である。
- ・「保護者・地域住民の不当・理不尽な要求行為」の研修について、グループで話し合い、全体へ向けて発表し、講師のコメントをいただいた。その時、教育委員会学校支援ラインの方にオブザーバーとして同席いただき、コメントをいただければ、生きた勉強になると感じた。
- ・具体的に理解できる研修（今回の事例研修など）を多く実施してほしい。校長がどのような考え方でどのように対応しているのか、分かるような研修をお願いしたい。
- ・演習の部分をもう少し深めていただきたかったと思いました。

第4回（福岡市新任校長研修）

研修に対する受講者の感想・評価

アンケート回答者 31 人（幼稚園園長 1 名、小学校校長 20 名、中学校校長 9 名、不明 1 名）

(1) 満足度

「大変満足」：7 人 / 「満足」：23 人

「あまり」：0 人 / 「満足でない」：0 人

無回答：1 人

(2) 上記設問（1）の選択理由【複数回答】

「自分の課題やニーズにあった（合わない）内容だった」：11 人

「研修の形態がよかった（よくなかった）」：3 人

「講座の講師の話が参考になった（参考にならなかった）」：15 人

「研修したことが実践に活用できる（活用できない）」：3 人

「その他」：0 人

無回答 1 人

(3) 内容に関する感想【全回答】

- ・ 現在の学校運営に適した研修内容でした。
- ・ 先生の話はとっても良くわかった。校長としてのあるべき姿を教えてもらった。
- ・ 本年度の学校経営の成果と課題を分析して、次年度の経営ビジョンを作成していくことが必要であることを再認識させられた。その際、学校評価を活かすことが重要であることも理解できた。
- ・ 学校評価に関しては、来年に向けて、再度見直す必要を感じた。
- ・ 学校評価の考え方、地域が支える学校、時間管理のマトリクス
- ・ 校長のビジョンと講話の在り方、共有ビジョンによるコミュニティースクールの構築、タイムマネジメントの工夫、戦略的な学校経営の在り方
- ・ 今後学校評価を通じた教育活動を実践していきたい。これからも相談にのっていただければ幸いです。
- ・ 「真のビジョンとは」を、ずっと考えさせられた研修です。じっくり、講師の先生と話して、自分のビジョンが、うきあげることができたらと思った一年でした。
- ・ タイムマネジメントを利用して自分の勤務を再度見直して経営に動かしていきたい。
- ・ 職務行動評価は良いように思える。人的不足はビジョンの評価にもマイナスになっていると感じています。
- ・ 4回の研修を通して、ビジョンとミッションの大切さ、PDCAサイクルの目的等くわしくのべていただきました。経営戦略のためぜひ参考にしていきたいと思います。
- ・ 2年目の課題がより明確になった。学校評価についてよく理解できた。
- ・ 先生の演習講義は大変参考になりました。
- ・ 学校関係者評価
- ・ 学校マネジメントとは、校長としてリーダーシップをとるとは、学校評価を生かすとは、大変実践に役立つ研修でした。具体的なところでは疑問も残りました。いつか開けたらと思います。
- ・ 先生に長い間指導していただきました。日頃考えていなかったことをたくさん考える。よい機会になりました。
- ・ 「おらが学校」を大切にしていきたいと思います。本当にありがとうございました。
- ・ 新任校長としてやるべき内容を目的を明確にし、説得力あるものである。人事評価、学校評価、タイムマネジメント等、充実させながら、学校改善に生かしていきます。
- ・ タイムマネジメントについて、学校評価を来年度に生かすこと。全体を通じてとてもよく計画された研修で大変参考になりよかったです。
- ・ 講師のお話を聞きながら、一つ一つ現在の校長としての日々を振り返り、自らの考えを構築していくことができました。この研修の内容を一つずつ次年度の経営ビジョンへ生かしていきたいと思います。講師の先生、ありがとうございました。
- ・ 時間をどう活用すべきか改めて考えさせられました。うまく様々をきちんと見極めなけ

ればならないと思います。

- ・ 校長業務のチェックシート（レーダーチャート）は、自分をより返る点で大変参考になった。
- ・ 本日の学校評価に関する講話で学校評価に関する考え方が全く変わりました。今までは、重たいものを感じていましたか。少しポジティブに考えていいことに気付きました。
- ・ 毎回、多くの資料を準備してくださって、ありがたかったです。特に危機管理と学校評価についてのガイドブックは、常に校長室の机の上に置いて時々開いているようにします。
- ・ 今、この講座で学んだことで、一番役立っているのは、危機管理の視点で学校経営を行うようになったことです。これからも先生の本に触れるのを楽しみに頑張ります。院生の方にもよろしくお伝えください。
- ・ 宮崎の人事評価が職務行動評価をしているのに印象に残った。文字ですばらしいことが書かれていてもそれが具体的な姿として表れていることがとても大切だと思う。自分自身の姿を可視化する2つの質問は（こわい気もしますが）ぜひやってみたいと思う。
- ・ 学校評価は、ついマイナス面を意識してしまうが、がんばっていることを評価してもらうというプラス面の評価を期待すれば、職員のやる気も生まれると思った。
- ・ いろいろありがとうございました。

(4) 研修形態・内容への要望（全回答）

- ・ 現在の形態で良い。
- ・ 参加型は、楽しく受講することができました。ありがとうございました。
- ・ 時間管理のための資料（アンケート）の項目は再考すべきかと思う。学校の在り方と温度差がある。
- ・ 先生の研修は大変すばらしいと思うが、4/6は多すぎるのではないかと思う。元校長等の具体的な経験をもった講師による具体的で、実践的な事例的研修も必要と思う。
- ・ 具体的で実践を交えた研修であり、充実していた。